



ライトアップされた白川郷

白川郷の合掌造りをライトアップして観光客を呼び込もうという企画に乗った。冬の間は週末だけ行っている。この企画は当たったようで、日曜だというのに多くの観光客がいた。おそらく土曜日にはもっとたくさんの方がいたのであろう。村はずれの丘に登って眺めることができる。場所取りが難しいほどたくさんの方がいた。往きはよいよい帰りは怖いで、凍った道が怖かった。

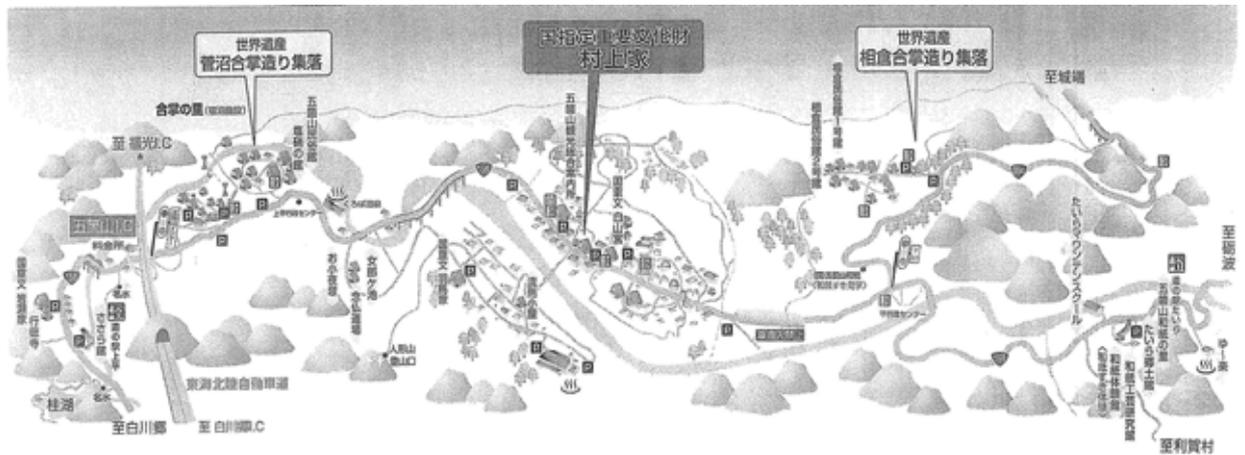
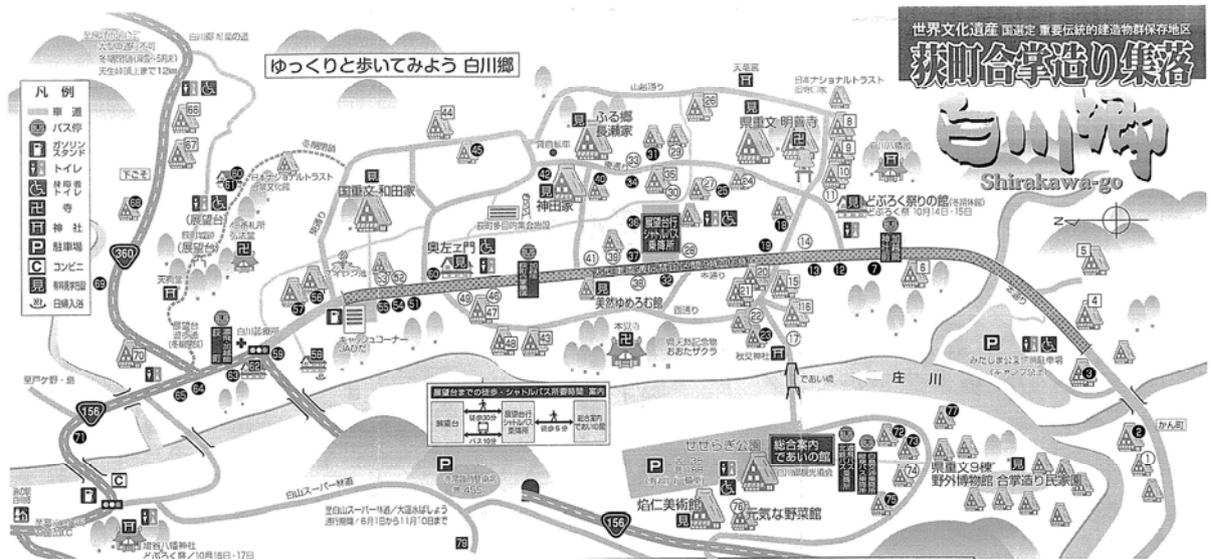




翌日はワカンの散歩である。地元のガイドさんがワカンとストックを用意してくれて五箇山近辺の森を2時間ほど案内してくれて、カモシカの足跡やきのこ・シラビソ・簡単なこの地方の歴史などの説明を聞きながら歩く。快晴無風の絶好の条件にも恵まれて、本当に楽しいだけの1日であった。年寄りには年寄りの楽しみ方がある。



ワカンを履くのは40年ぶりぐらいである。最近ではスノーシューばかりであるので、ワカンとは縁遠くなっていた。スノーシューはテクニックが要らないのに対して、ワカンの場合は前の人とぴったり歩幅を合わせないとこぼってしまう。私のように足が短いとこれは一苦労である。昔はこれですいぶん苦労した。しかし今回はジジババ軍団のお散歩なのでそんなことも関係なかった。



白川郷の観光客には外人さんが多かった。あちこちで韓国語や中国語が聞こえた。まあ、私にはジンガポールも台湾もみんな中国語に聞こえてしまうから、国籍推定はいい加減である。欧米と思える人たちも結構いた。日本の観光産業もガンバっている。